

あしや 市議会 だより

2018年2月
No.103



自分を信じる、
仲間を信じる！



中学校
部活紹介
山手中学校
男子バスケットボール部
部員総数18名で活動しています。
7月の総体で市内優勝と
阪神大会ベスト4を目指します！

- 注目の議案をPick up
- 一般質問
- 行政視察の報告

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

注目の議案

平成29年
第4回定例会
12月1日～
12月22日
22日間

今定例会では全部で23件(市長提出議案…16件、請願…1件、議員提出議案…1件、陳情…2件、懲罰動議等…3件)の議案等が審議されました。今号では、このなかからいくつかの議案をピックアップして紹介します。

Pick up 1

青屋市一般職の職員給与に関する条例の一部を改正(第91号議案) 職員の給料月額と勤勉手当の支給率を引き上げへ

内容 人事院勧告等を参考に、一般職の職員の給料月額を行政職給料表で平均0.20%、教育職給料表で平均0.17%の引き上げを行うもの。また、勤勉手当の支給率については、年間にして01月分再任用職員については0.05月分の引き上げを行うもの。

質疑

- Q 今回の条例改正の特徴は?
- A 人事院勧告を参考に、若年層に重点を置いた改正内容となっている。
- Q 人事院勧告以外に参考にしているものは?
- A 人事委員会を持っている兵庫県や神戸市などの状況も参考にしている。
- Q 本市のラスパイレイン指数が100を超えている要因は?

A 阪神・淡路大震災以降の職員の採用抑制により、現在の中堅層が少なく、若年層の職員を早く昇格させなければならぬ状況が生まれているのが主な要因であるが、国の職員構成では、市の職員構成を用いて出す指数で見ると、100を切る程度にならなっており、給料月額としては高くないと判断している。

可決
(賛成多数)

Pick up 3

留守家庭児童会等5歳以下学級の安全な運営の保障と待機児童解消に関する請願書(請願第14号)

不採択
(賛成少数)

請願項目
平成30年度までのこ学級を、学童保育としてあるへき安全で楽しい運営が保障される集団規模にするために分割して4年生をさむ待機児童の解消を求めるもの
(請願者 青屋市学童保育保護者連絡会)

質疑

- Q どの地域に住んでも、同じサービスが提供されるのが基本であるが、地域によって格差が出ている理由は?
- A この事業は歴史が長く、学校などの施設の整備状況や地域性が影響していると考え、地域によって生じている差を埋めるために、平成31年度を目標として、小学校6年生までの受け入れと待機児童の解消を目指している。
- Q 指導員の配置基準について、指導員の組合との取り決めはあるのか?
- A 新しい学級を作るときには、嘱託職員を2名配置するとうり取り決めがある。

Pick up 2

青屋市一般会計補正予算(第4号)(第77号議案) 住民基本台帳システム改修、認定こども園誘致など各経費の追加へ

可決
(賛成多数)

内容 マンナンパーカード及び住民票に印字を併記できるようにする住民基本台帳システムの改修、認定こども園の誘致等にかかる経費の追加、火葬場や市営住宅などの指定管理業務や高浜町一番社会福祉複合施設整備事業に係る工事負担の債務負担行為を追加するもの

質疑

- Q 住民基本台帳システム改修
今後マンナンパーカードの普及に向けて、利便性を向上させる施策は考えているのか?
- A 今のところ青屋市独自の施策は考えていない。
- 要 望 マンナンパーカードを持っていてかかったと思えるような具体的な施策を打ち出し、普及率向上に努めてほしい。

認定こども園の誘致

- Q 園が民間の認定こども園に対して補助単価を上げた理由は?
- A 工事費等の単価が上がっているのを踏まえた増額であると考えている。
- Q 今後認定こども園が増えることにより、民間の放課後児童クラブが増える可能性は?
- A 学童保育の利用希望者の状況等を念頭に置き、認定こども園の所管課とも連携しながら検討する。

要 望 子どもたちが健やかに育つための環境整備は行政の重要な役割である。実際に事業者が運営する際には十分な聞き取りや助言を行う必要がある。

要 望

・人員が不足している部署に職員を配置する場合は、最終的には住民サービスの向上にもつながると考え、職員の待遇改善の一層取り組んでほしい。

・国や人事院勧告に準拠している部分もあるが、人材の確保や育成などに関しては、本市の考えをしっかりと踏まえてほしい。



※ラスパイレイン指数とは、国家公務員の平均給与額を100とした場合の地方公務員の平均給与額を表す指数である。

市営住宅等の指定管理業務

- Q 指定管理料の積算方法は?
- A 住宅管理戸数の変化も考慮し、前年5年間の経過実績に基づきながら指定管理料を積算している。
- 要 望 業務に支障が出ないような指定管理料を設定してほしい。

高浜町一番社会福祉複合施設整備事業

- Q 地中障害物の撤去費用は全額市が負担するのか?
- A 公費を投入するため、合理的な範囲で市が負担する方向で考えている。
- Q 地中障害物によって工期が遅れる可能性は?
- A 工期が大きく遅れることはないが、市も支援が必要。

反対の立場について

- 債務負担行為の中に市営住宅の指定管理業務が含まれているという点で反対する。管理業務については民間に任せるのではなく、市が責任を持ってしっかりと利用者の暮らしを保障することが必要である。



施設予定地から出てきた地中障害物

賛成反対それぞれの立場から討論

賛成討論

- 地域によって差を作らず、同じサービスを提供するべきである。学童保育は児童福祉法で保障がされており、確実に遂行されていくことが本来の姿である。
- 現在、市が平成31年度末までに進めようとしている待機児童解消に向けた取り組みの中で、5歳以下学級を学級にするためには、嘱託職員を2名雇用する必要があるが、人件費が市の大きな負担になる。

反対討論

- 5歳以下学級での待機児童数が深刻な状況であることは重々承知しているが、平成32年度に控えている会計年度任用職員制度への変更について、具体的な内容が明らかにならないうちに、嘱託職員を新たに雇用することは今後の行政運営に不安要素を与える。
- 新年度に向けた待機児童解消を具体的に検討しているため、その施策に期待を込めて反対する。



※本ページの議案等の内容は、審議結果は9ページの審議結果一覧をご覧ください。

就学前教育と切れ目のない多様な子育て支援の実施を

議員 国の3歳児からの就学前無償化施策を受けて公立幼稚園及び保育のニーズ量などを現在の計画に追加し、本市の就学前施策の再考を求めたい。



教委 現在示している「市立幼稚園・保育所のあり方」の計画を着実に進めることで、待機児童対策と3歳児の教育ニーズにも応えていくと考えているが、本計画が完了した時点で、市内の子どもの動向や保護者のニーズを検証し、次の施策につなげていく。

議員 ヘルパカードの導入についてはどう考えているのか。そのほかダウン症向けの母子手帳、需要が拡大している児童保育の対応、性的マイノリティ教育の充実など、人に寄り添った施策を求める。

市 ヘルパカードの導入は、助け合いの仕組みづくりの手段として有効であると考えるが、県が「譲りあい感謝マーク」を推奨しており、広域で実施すべきと考えているため、県及び近隣市の導入状況等を確認しながら検討していく。



芦屋にもヘルパカードの導入を!

岩岡りょうすけ あしや真政会

芦屋市職員の人事労務施策について



議員 本市の職員への処遇については、頑張った人が報われない現状である。公務員の能力主義、実績主義を表現するため、人事評価の処遇格差を拡大多段階化してどうか。

市 人事評価制度は、職場で職員が成長する組織課題を共有し協力しあう組織、努力した人が報われる組織を目指して導入しており、今後も適切な処遇への反映について検証していく。

議員 所属長による超過勤務の命令は徹底されているのか。

市 時間外勤務は、必ず所属長の命令を受けて行うものとして、必要性、緊急性などを精査した上で命令するよう徹底していく。

議員 超過勤務の適正化のため、人事評価制度に超過勤務命令、遂行の項目を組み込むべきと考えるが、市としてどう考えているのか。

市 人事評価制度の評価項目に時間外勤務に関する項目を設けることについては、来年度の人事評価制度に反映できるように検討していく。

その他の質問

- ・妊婦健診助成額の拡充について
- ・芦屋市学校給食の取り組みについて
- ・打出村踏切開かずの踏切二及び打出交差点北踏切について

平野真雄 日本共産党

マンション等集合住宅の防災対策へ支援の強化を



議員 マンション等集合住宅に対応した防災対策の必要性については、2年前の一般質問で確認し、市は研究していくと答弁していたが、防災認定マンションや防災対策推進マンションなど、先進事例の研究成果はどうか。防災マニュアルの作成手引きの配布などは早々にできることであり、支援策の具体化へ早急な検討を求める。

市 集合住宅の防災対策については、国の研究機関から、集合住宅を含めた地域全体での取り組みが望ましいとの報告があり、また、本市においても地域のからの要望があることから、マンション単位ではなく、まずは集合住宅と地域の連携を促進させ、地域防災力を向上させる取り組みを進めていく。その上で、マンションや集合住宅単位ごとの防災対策の必要性について考えたい。



地域の防災対策においてマンションは重要な位置を占めている

- その他の質問
- ・火力発電所増設計画について
- ・平和と安全について
- ・市立幼稚園・保育所統廃合問題について

森しずか 日本共産党

南芦屋浜への郵便局・ATM設置の具体的な検討を



議員 今なお地域住民から郵便局・ATMの設置が切望されている。市と県担当者は誘致のための具体的な検討を、日本郵便やゆうちょ銀行に積極的な提案を行うべきではないか。市・県の協議内容と進捗状況を問う。まちづくりにおける行政の責任が問われている。企業ではなく、住民の立場で取り組むことを求める。

市 南芦屋浜地区の郵便局とATMの設置は、平成29年5月に県企業庁とともに、日本郵便及びゆうちょ銀行に赴き、当地区のまちづくりの進捗や人口の増加、今後の住宅分譲予定などを伝え、必要性を強く訴えてきたところである。設置の実現に向けては、事業採算性が大きな要因となることであるため、まちづくりの早期完成により、人口や来訪者の増加につなげていく。



南芦屋浜まちづくりに欠かせない郵便局・ATMの設置。住民とともに誘致場所の検討を

その他の質問

- ・芦屋に「せせがね」健康保険について

山田みち子 あしや真政会

東京五輪みんなのメダルプロジェクトについて



議員 芦屋市は、リサイクル金属を東京五輪のメダル製作に活用する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加し、携帯電話の回収ボックスを設置しているが、設置場所が分かりにくいのではないかと。また、その回収状況や回収品目を携帯電話のみとした理由を問う。

市 携帯電話の回収状況は10台程度であるが、回収ボックスの設置場所については今後工夫していく。携帯電話のみの回収については、管理面やスペースを勘案し、専用ボックスを設置したが、本市はこれまででもその他不燃ごみで回収した携帯電話を含む小型家電を環境処理センターで選別・リサイクルしており、この回収方法が本プロジェクトに採用されたことなども周知していく。



みんなで五輪メダルを作りますぞ！

- その他の質問
- ・ラポルテの活性化とJR芦屋駅南の市街地再開発事業との関連について
- ・生命治療を望まない人のための救命について

ひろせ久美子 日本共産党

学校給食費の無償化について



議員 本市の給食は戦前から始まり、二学校単位として欠食児童だけでなく、裕福な家庭の児童(希望者)にも偏食の矯正のために実施され、食育が行われてきた。全国で無償化が進む中、質の高い学校給食を学校給食法に定める義務教育としてとらえ、義務教育を無償とするという観点から学校給食費の無償化を求める。

教委 学校給食法では、学校給食の実施に必要な施設、設備に要する経費、学校給食の運営に要する経費については、学校の設置者が負担し、それ以外の学校給食に要する経費は、保護者負担としている。現在、要保護、准要保護の児童生徒については、給食費の扶助を実施しており、全ての児童生徒の給食費を無償化するまでは考えていない。

※欠食児童とは、家庭の経済的困難により、十分に食事を与えられていない子供のこと



芦屋の手作り給食・レシピ集

その他の質問

- ・市職員の長時間労働について

田原俊彦 公明党

医療相談コールセンターの設置を



議員 市民が夜間や休日を問わず安心して医療相談ができる。また119番受信の軽減にもつながる24時間医療相談コールセンターの設置を再度提案するかどうか。

市 24時間医療相談コールセンターは、神戸市が「救急安心センター」の運用を開始したため、広域化に向けて協議していく。



芦屋市消防本部の救急車

救急感謝カードの配布について

議員 救急現場に居合わせ、応急手当を施した人に良かったと思っていただけるよう救急感謝カードを配布してはどうか。

市 救急感謝カードは、バイスタンダー* に対し、その勇気ある行動に感謝の意を伝えるために有効であると考えているため平成30年4月に導入予定である。*バイスタンダーとは、救急現場に居合わせた人のこと

- その他の質問
- ・公契約における労働条件審査について
- ・がん検診について
- ・性的少数者について

重村啓三郎 あしや真政会

参画と協働のまちづくりがより進むためには



議員 第4次芦屋市総合計画では、市民参画・協働を市政の大きな柱の一つとしている。参画と協働のまちづくりを進めていくためには、幹部職員が、地域で汗を流して活躍している市民とともに、芦屋の三大まつりや各地区での防災訓練などのイベントに積極的に参加することが必要であると考えるがどうか。

市 参画と協働の推進については、アプリックコメントの閲覧場所の増設や周知方法の見直し、市民提案型事業補助金制度の創設など、市民が地域活動に興味を持ち、広く参画いただけるよう取り組んでいる。職員の市民活動への参加については、自治会等の取り組みへの参画や、地域との関係性の構築を目的とした研修の実施のほか、事業者との協働事業などを行ったところであり、今後も継続していく。



震災から学んだ参画と協働を大切に

審議結果一覧

議案番号	件名	結果	内容
条例の制定			
76	下水道事業の設置等に関する条例	可決	下水道事業特別会計を廃止し、下水道事業に地方公営企業法の一部を適用する(企業会計化を行う)もの
条例の一部改正			
69	文化基本条例	可決	文化芸術振興基本法の一部改正を踏まえ、条例で引用する法律名や基本計画の名称変更など、関係条文を整備するもの
70	職員の配偶者同行休業に関する条例	可決	国家公務員の配偶者同行休業制度の一部改正を踏まえ、配偶者同行休業の期間を延長できる特別の事情を定めるもの
71	職員の育児休業等に関する条例	可決	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業について、特別の事情がある場合には子が2歳に達するまで休業できることとするもの
72	手数料条例	可決	介護サービス事業者等の指定の審査手数料を定めるとともに、建築基準法の一部改正に伴う新たな用途地域内における建築等の許可申請手数料を定めるもの
73	市営住宅の設置及び管理に関する条例等	可決	公営住宅法の一部改正に伴い、市営住宅等の入居者のうち認知症である者、知的障害者等についての収入申告義務を緩和するもの
74	都市公園条例	可決	都市公園の占用使用料を改定するとともに、都市公園に設ける運動施設の設置基準を定めるもの
75	道路占用料条例	可決	国の道路占用料の改定を参考に、本市の道路占用料を改定するもの
81	一般職の職員の給与に関する条例	可決	人事院勧告等を参考に、一般職の職員の給料月額及び勤労手当の支給率を改定するもの
82	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等	可決	一般職の職員に準じ、市議会議員及び特別職の期末手当の支給率を改定するとともに、市長、副市長及び教育長の期末手当の減額割合を改定するもの
補正予算			
77	平成29年度一般会計補正予算(第4号)	可決	住民基本台帳システムの改修、認定子ども園の誘致及び文化財保護事業の各経費を追加するもの
83	平成29年度一般会計補正予算(第5号)	可決	特別職及び一般職員の給与等の見直しを行うもの
その他			
68	人権擁護委員の候補者の推薦	同意	平成30年3月31日をもって任期が満了する委員の次期委員の候補者を推薦するもの
78	火葬場の指定管理者の指定	可決	太陽窯炉工業株式会社を芦屋市聖苑の指定管理者として5年間指定するもの
79	養老老人ホーム和風園の指定管理者の指定	可決	社会福祉法人聖徳園を養老老人ホーム和風園の指定管理者として5年間指定するもの
80	市営住宅等の指定管理者の指定	可決	日本管財株式会社を市営住宅等の指定管理者として5年間指定するもの
議員提出議案等			
20	道路整備の推進に必要な財源確保を求める意見書	可決	政府等関係機関に対し、意見書を提出するもの 8ページ「可決した意見書」をご覧ください。
	平野貞雄議員に対する懲罰動議	可決	
	平野貞雄議員に対する処分要求について	可決	8ページ「平野貞雄議員に対する懲罰(5日間の出席停止)を可決」をご覧ください。
	平野貞雄議員に対する再懲罰動議	可決	
請願・陳情			
請願 14	留守家庭児童会すぎのこ学級の安全な運営の保障と待機児童解消に関する請願書	不採択	平成30年度にすぎのこ学級を、学童保育としてあるべき安全で楽しい運営が保障される集団規模にするために、分割して小学校4年生を含む待機児童の解消を求めるもの
陳情 14	福祉職場の職員の大幅増員と賃金の改善の実現に向けて、国に対して意見書の提出を求める陳情書	結論を得ず	福祉職場の職員配置基準を抜本的に改善し、職員の大幅増員や全産業平均との賃金格差の解消を求めるもの。また、保育業の退職手当共済制度の維持・拡充や福祉で働く職員の退職手当共済制度の整備を求めるもの(民生文教常任委員会)
陳情 15	芦屋市立新浜保育所の統廃合計画に関する陳情書	不採択	保育園に通う子どもたちの利益を最優先し、統廃合計画に対して全面的な見直しを求めるもの(民生文教常任委員会)

※ 〇は「賛否の分かれた議案」を表しています。 ※陳情は〔 〕内の委員会の審査結果です。

賛否の分かれた議案 今回賛否の分かれた議案等の採決の結果は下表のとおりです。

議案番号	議員名	あしや真政会										公明党		日本共産党		日本維新の会		会派に属さない議員		議決結果		
		福井利道	長野良三	福井美奈子	畑中俊彦	中島健一	聖村啓二郎	徳田義昭	山田和也	田原俊彦	ひろせ久美子	森しずか	平野貞雄	寺前裕貴	大原裕文	長谷基弘	中島健一	前田辰一	結成	賛成	反対	棄権
第77号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第80号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第82号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第83号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第14号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平野貞雄議員に対する懲罰動議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
懲罰の種類(陳謝)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平野貞雄議員に対する処分要求について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
懲罰の種類(陳謝)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平野貞雄議員に対する再懲罰動議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
懲罰の種類(5日間の出席停止)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 〇…賛成、×…反対、「欠」…欠席、「棄」…棄権、「除」…除斥、「停」…出席停止(議長は表決に参加しません。)

前田辰一 無所属 3歳児の教育ニーズは認定子ども園の整備なのか



議員 3歳児の教育ニーズは認定子ども園の整備というのが市の整備というのがあるが、見解である。平成30年4月の私立認定子ども園2園の開園と、市の公立幼稚園(保育所統廃合計画で予想される3歳児枠は140人を超えているが、これは市の計画どおりなのか。今後とも計画を上回る認定子ども園の整備が予想されるが、3歳児枠の拡大を図っていくのか。



認定子ども園移行予定の精道保育所

教委 今後、「市立幼稚園・保育所のあり方」の計画を着実に進め、改めて、3歳児の動向を検証する必要があると考えている。
*1号認定とは、満3歳以上で就学前の保育の必要がない子どものこと。

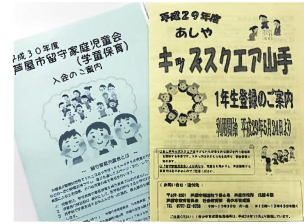
その他の質問
・高齢者バスの運行補助制度と公共交通について
・市営住宅等について
・JR芦屋駅南再開発事業について

福井利道 あしや真政会 放課後児童の居場所について



議員 放課後児童の居場所については、木々、家庭、地域であるべきと考えるが、社会情勢も勘案した行政としての考え方を明らかにし、今後の学童保育については、弊りのある市費負担の考え方を、より柔軟な運営が可能となる民間委託も含め、未来の芦屋を担う子どもたちのために慎重かつ大胆に事業を進めてほしい。

教委 学童保育については、平成31年度には待機児童をゼロにするという計画を立てているが、それまでもできることをしながら、子どもたちの安全な居場所づくりに努めていく。芦屋市子ども子育て支援事業計画における放課後児童健全育成事業の目標達成については、敷地内での整備に見込みが立たない学校もあるため、学校外での事業の実施や民間事業者との連携も含めた対応を現在検討している。



放課後児童の居場所としての同施設

平野貞雄議員に対する懲罰(5日間の出席停止)を可決

12月13日の本会議一般質問で、平野貞雄議員が申合せで決まっている40分の持ち時間を過ぎても発言し、議長席の福井和也副議長から2度注意されたにもかかわらず、発言を続け、マイクのスイッチを切られたことなどに抗議を表明したため、「議事妨害の禁止」に抵触し議場の秩序を乱す行為であると3人の議員から懲罰動議が提出されました。

また、平野議員は12月14日の本会議における懲罰動議に対する弁明の際に、13日の抗議弁明に至った経過を述べ、動議提出に強く抗議するとともに、発言を終えるように執拗なやじを繰り返した中島健一議員こそ議会の品位を汚していると述べました。これに対して中島健一議員から、平野議員の弁明により侮辱を受けたとして処分要求が提出されました。
二つの事案について懲罰特別委員会が審査の後、本会議で採決した結果、陳謝の処分を可決賛成多数でしたが、平野議員はこれを拒否したため、改めて3人の議員から再懲罰動議が提出され、再度、懲罰特別委員会での審査の後、本会議で採決した結果、5日間の出席停止の処分を可決賛成多数しました。

可決した意見書

今定例会で可決した意見書につきましては、地方自治法第99条の規定により、芦屋市議会からそれぞれの提出先に提出しています。

道路整備の推進に必要な財源確保を求める意見書

【提出先】衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣 内閣官房長官
【内容】①地域の交流と日々の暮らしを支えるために必要な道路整備や適切な維持管理を精実かつ計画的に実施できるよう、平成30年度予算及び平成29年度補正予算の総額を安定的かつ十分に確保すること。
②「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の上上げ措置について、平成30年度以降も継続すること。



議会のナゼ? なに? 議会クイズ 第21回 再発見!

問題 12月定例会での議案の可決により、ある事業の会計区分が特別会計から企業会計に変わることが決まりました。その事業は次のうちどれでしょうか? (出題者:大原裕貴委員)

- ① 下水道事業
- ② 都市再開発事業
- ③ 介護保険事業

ヒント
9ページの
審議結果一覧を
見てね◎

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。正解は、5月発行予定のあしや市議会だよりNo.104で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。

前回のクイズの答え

「今定例会では決算特別委員会が開かれ、3日間集中的に審査が行われました。審査を行った会派はあしや真政会・公明党・日本共産党・日本維新の会の4会派ですが、何人で審査したでしょうか?」の正解は、「@6人」でした。
※前回の応募総数は23件



応募方法

「電子メール」または「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第21回議会クイズ応募」としてください。

応募締め切り

平成30年2月28日(水)まで ※当日消印有効

応募先

〒659-8501
芦屋市精道町7番6号
芦屋市役所 市議会事務局

メールアドレス:
gijityousa@city.ashiya.lg.jp



QRコード
(メールアドレス)

※個人情報(賞品の発送以外)には使用しません。
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

市議会ホームページで なにができる?

芦屋市議会 検索



本会議・委員会を生中継で見る

本会議・委員会終了後、会議録が掲載されるまでの期間は録画配信もしています。スマートフォンやタブレットでも閲覧が可能です。

過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会・特別委員会の会議録を調べたり、見たりできます。

会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

議案書などを見る

審議に使用する議案書、議案説明資料、請願を見ることができます。陳情は件名を掲載しています。議案などの審議結果のほか議員一人一人の賛否も公開しています。

請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話がしたい場合などに活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

政務活動費や議会交際費を チェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

今後もさらに内容を充実させて
いきますので、ぜひ活用ください。

3月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会を傍聴することができます。ぜひお越しください。

月	火	水	木	金	土	日
2/19	20	21	22	23	24	25
議会運営委員会	本会議 (施政方針説明)	建設公営企業 常任委員会	民生文教 常任委員会	総務 常任委員会		
26	27	28	3/1	2	3	4
				議会運営 委員会		
5	6	7	8	9	10	11
本会議 (総括質問等)	本会議 (総括質問等) 予算特別委員会	建設公営企業 常任委員会・ 予算分科会	民生文教 常任委員会・ 予算分科会	総務常任委員会・ 予算分科会		
12	13	14	15	16	17	18
委員会・ 予算分科会 (予備日)	委員会・ 予算分科会 (予備日)	委員会・ 予算分科会 (予備日)				
19	20	21	22	23	24	25
予算特別 委員会			議会運営 委員会	本会議 (表決等)		

○本会議委員会の開始は、原則午前10時からです。

編集後記

昨年12月定例会から、芦屋市議会として、開かれた議会を目指し、本格的なインターネット中継が始まりました。また、新しい取り組みとして議場モニターでの資料表示やスマホ対応の委員会生中継を始めました。3月定例会は次年度予算を審査する重要な定例会でもありますので、ぜひとも傍聴やスマホで、熱い芦屋市議会をご覧ください。

【編集委員】
福井 利道

